

国民皆歯科健診の普及におけるエビデンス

小林 隆太郎

日本歯科医学会副会長



<略歴>

- 現 職 日本歯科大学東京短期大学 学長
日本歯科大学附属病院口腔外科 教授
日本歯科医学会 副会長
- 略 歴 昭和 59 年 3 月 日本歯科大学歯学部 卒業
平成元年 3 月 日本歯科大学大学院歯学研究科 博士課程修了
平成 3 年 4 月 日本歯科大学歯学部口腔外科学教室第 2 講座 講師
平成 13 年 1 月 日本歯科大学歯学部附属病院顎変形症診療センター長
平成 15 年 4 月 日本歯科大学歯学部附属病院口腔外科 助教授
平成 21 年 4 月 日本歯科大学附属病院医療管理室 室長併任
平成 22 年 4 月 日本歯科大学口腔外科 教授
令和 3 年 4 月 日本歯科大学東京短期大学 学長
- 社会活動 平成 25 年 8 月 日本歯科医師会保険適用検討委員会委員長
平成 26 年 4 月 日本歯科医学会歯科医療協議会座長
平成 27 年 7 月 日本歯科医学会常任理事
平成 30 年 6 月 日本生活習慣病予防協会参事
令和元年 7 月 日本歯科医学会総務理事
令和元年 7 月 日本歯科医学会連合専務理事
令和 5 年 7 月 日本歯科医学会副会長
- 表彰関連 平成 24 年 10 月 厚生労働大臣表彰

令和 6 年 1 月現在

抄録

歯科医療が人という生命体に向き合うこと概念に移行している今、健康寿命の延伸のために、「がん、心臓疾患などの 1 次予防、2 次予防をより一層進めていく」こと、「筋骨格系疾患への対応」、「メンタルヘルスへの配慮」、そして、「口腔健康管理」が重要とされています。また、歯科による周術期管理の介入、充実が術後医療成績の向上に影響する報告など、今、歯科医療が社会から注目されています。

そこで、国民皆歯科健診について、口腔健康管理、国民皆保険、国民皆歯科受診をキーワードに考えていきたいと思えます。